

道 どうてい 程

～前に道なし 道は後に～

「共に歩む新たな歴史」

養父市が発足して6カ月が経過しました。養父市民の皆様のご協力のもと、養父市は新たな歴史を歩み始めています。

私は市長就任にあたり、市職員の前で「僕の前に道はない 僕の後ろに道はできる」と述べ、初代市長としての決意の一端を申し上げました。これは、智恵子抄で知られる高村光太郎氏の代表的な詩「道程」の最初のくだりです。平成大合併兵庫県第1号としてスタートした養父市の舵取り役として、まさに、この言葉どおりお手本のない新たな道を歩んでゆかねばならないからです。私は、今月号から始まる私の所感のタイトルとして、この言葉を選ぶことにいたしました。養父市の道程を一步一步見つめていこうと思うからです。

さて、来春但馬は、養父市に続いて第2・第3の新たな市が誕生の予定です。自治体の規模が大きくなり、これまで以上に自己決定、自己責任が問われ、同時に自治体間の競争も激化するものと思います。こうした状況下、養父市政運営にあたり、2つの理念のもとに取組んで参りたいと考えています。

その第一は、地域個性の醸成ということです。中央集権から地方分権へ、そして、それは画一化から個性化へという時代の流れでもあります。自らの資源を見つめ直し、培ってきた文化・伝統・歴史をより高く磨き上げること、旧4町のそれぞれの個性を埋没させることなく一層高めて、新市の共有財産として育てていくことが大切だと思います。

第二に、市民の参画と協働です。高度経済成長から低成長、そして成熟社会に入った日本社会を見据え、私は市民の参画と協働をその根幹に据えた市政運営を進めたいと考えています。行政への市民参加にとどまらず、市民の自発的な取組みを積極的に支援し、一緒になって新市を創っていく考えです。そのためにも情報公開を進め、市民の皆さんと情報を共有し、共に歩む姿勢を貫いていきたいと思ひます。

市民の皆様のご指導、ご鞭撻をよろしく願ひいたします。新たな歴史の歩みを皆様と共に。

養父市長 佐々木 憲二

自宅療養したい方、通院が難しい方にお近くの「かかりつけ



福井久子
医療ソーシャルワーカー

かかりつけ医を推薦します

な方も、予約が可能です。こちらは病院の地域医療科に連絡をお願いします。

「医」をご紹介するサービスを始めました。近くの医療機関に変わりたいが、どこが良いのか分からないという方に個別に相談させていただきます。

今かかっておられる医師に相談して現在の治療内容等を考慮して「かかりつけ医」を推薦させていただきます。

お近くの先生にかかっておられても、必要なときに病院の検査や入院治療を受けることができ、お忙しい方でも治療が続けやすくなります。

どこの医療機関にかかっておられる方でも、救急の診療は心配ありません。

救急は365日24時間体制となっております。また専門の科や医師の診察が希望のときも、お近



田原香織
医療ソーシャルワーカー

救急受診や入院のときは

くの医療機関からの予約をしていただければ、優先して診療させていただきます。

事前予約とかかりつけ医紹介についてのパンフレットを、医院、診療所に置かせていただいておりますので、ご覧頂き「かかりつけ医」をもって健康な生活を獲得していただきますようお願い申し上げます。

◆お問い合わせ先 公立八鹿病院 地域医療科 (☎662-3135)



三方周子事務



長澤典令顧問